

オプトアウト

このたび、下記の研究を、神奈川県助産師会倫理委員会の承認のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる、利用者の方への新たな負担は一切ありません。また利用者のプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない利用者のかたは、その旨を公益社団法人神奈川県助産師会事務局までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方 2020年9月29日より2021年9月29日までの間に、神奈川県新型コロナウイルス感染症妊産婦等電話相談を利用された方

2 承認番号 2021-02

研究課題名 妊産婦の新型コロナウイルスに対する不安がどのように変化してきたか
—神奈川県新型コロナウイルス感染症妊産婦等電話相談の委託事業を行って—

3 研究実施機関 公益社団法人神奈川県助産師会

4 本研究の意義、目的、方法

目的：1年間、電話相談を受けている中で、COVID-19の感染者数の増減や、緊急事態

宣言の発令、千葉県で起きた新型コロナウイルス感染妊婦の新生児死亡の報道などによって、妊産婦からの電話相談件数や相談内容がどのように推移してきたのかを明らかにし報告する。

意義：本研究で明らかにされた結果は、1年間の現状を明確にでき、助産師の行う今後の妊産婦への援助や電話相談に活かされていくと考える。

方法：①県に提出した「令和2年度神奈川県新型コロナウイルス妊産婦等電話相談窓口運營業務委託」に係る事業実施報告書

②令和3年4月から9月の「神奈川県新型コロナウイルス感染症妊産婦等電話相談」の毎月の状況を神奈川県に報告するための月報

上記神奈川県から研究目的に使用許可を得て、提供を受けたデータを活用し、相談内容の項目の件数を単純集計し、その推移を分析する。

新型コロナウイルス感染症の感染状況と妊産婦のニーズや不安内容の変化の関連性を、妊産婦の訴えの内容を基に分析する。

5 協力をお願いしたい内容

相談記録のデータの活用

項目：相談者（妊婦、産婦=出産後1年以内、子育て中の母親、子育て中の父親、その他）、年代、住んでいる地域、相談電話を知った経路、相談内容=POSで記入、相談終了か紹介かを記入している。

6 データの収集期間

令和3年11月神奈川県助産師会倫理委員会承認後から12月8日まで

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う相談者の個人情報、一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う相談者の得られたデータを厳重に管理し秘密の保持に努めます。
- 3) 本研究のためのみに使用し、終了後は焼却および内容が安全な状態で破棄します。
- 4) 情報は当会内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

公益社団法人 神奈川県助産師会

〒231-0037 神奈川県横浜市中区富士見町3-1 神奈川県総合医療会館 6F

tel 045-262-4201 fax 045-348-9020

mail mw-kngw@gold.ocn.ne.jp